

# 結

ゆい

アメリカではパリテが勢いよく進行中である。大統領選挙と並行して行われた国会議員選挙では女性が続々と当選している。若者に支持されたサンダース系列の議員が勢いを増している。「貧困大国アメリカ」とも表現される世界最大の富裕国家。学費ローンに人生を潰される若者、家賃が高くて路上に追い出される人々、一旦病気すれば限りなく貧困へと落ちていく夢の国。思い返せばオバマ大統領は孤独なカリスマだった。彼は両脇をエスタブリッシュメントに固められ結局何もできなかった。指導者をただ選ぶだけではダメだ。バイデン＝ハリスのペアは新政権官僚に女性を多く起用している。集団の力で国難を未来へと切り開く意欲が伝わってくる。「史上最年長大統領」という「不安」を吹き飛ばす「ハリス」という存在。女性の存在は新しい時代を開く希望だ。

(たかだ 洋子)

2020年12月22日 発行：ユニオンと連帯する市民の会 「結」編集委員

第23号



10月のユニオン学校「アメリカの労働運動に学ぶ」(報告・鶴丸周一郎氏)は映像により臨場感溢れた。第1部はレイバーノート主催のアジア地区大会(2019)これは鴻海(ホンハイ)前抗議要請行動とワークショップ第2部はロサンゼルス労働運動団体訪問記(2019年)。レイバーノートの集会にはこれまで、幾人も参加してきたし、2017年11月にはレイバーノート共同創立者の一人ジェーン・スロータさんを名古屋に招き「アメリカの労働運動の現状を学ぶ」という集会を諸団体で持った。

- 厭戦・反戦の歌(戦後編).....2~3 寺村 治雄
- 連帯ユニオン関生支部の産業政策運動.....4 石田 好江
- 名古屋女性ユニオン「小さなユニオンでもいい」.....5 内藤 菊江
- レイバーネット日本「アメリカ:激戦だった2020大統領選挙」.....6~7 山崎 精一
- 企業協力の労組づくり.....8~9 近森 泰彦
- 会社の労務管理組織の一翼に組み込まれたトヨタ労組.....9~10 中村 一三
- 共謀罪と労働運動(五).....11 木村 直樹
- 失業者の労働運動(二).....12~13 佐藤 明夫
- 11.1全国労働者総決起集会に参加して.....14~15 柿山 朗
- 書評:斎藤幸平著『人新世の「資本論」』.....15~16 たかだ 洋子
- 編集後記.....16 たかだ 洋子

# 「厭戦・反戦の歌一日中戦争から寅さんまで」

元高校教諭・寺村治雄さん。歌曲、ソング、替え歌の収集。ユニオン学校 11 月。軍国主義は歌。戦時中の軍歌は日本的メロディー。歌はまさに戦意高揚に使われた。でも平和のたたかいを励ますためにも。北山修、三橋美

智也、美空ひばり、渥美清、岡林信康、きたがわてつ、ジュリー、バタヤン、美輪明宏、荒木栄、森山良子、川口真由美、高田渡、・・・懐かしい名前ばかりですね。(編集部)

## 厭戦・反戦の歌・・・戦後編

寺村 治雄

テーマ別に、**作者 or 歌手**、『題名』、：歌詞の一部か説明。紙幅の関係で「こんなものもある」というのを挙げている。

① 日本の侵略を扱ったもの：

**北山修**『戦争を知らない子供たち' 83』：朝鮮への憲兵政治、土地取り上げ・それへの抵抗、南京大虐殺、強制連行などは、本当だったのかと、生徒が問う形。

**森村誠一・池辺晋一郎**『合唱曲「悪魔の飽食」』：731 石井部隊の細菌・化学兵器の人体実験、被害者の無念と抵抗、加害者の悔恨、残された者の科学への決意をリアルに、高らかに歌う。

**愛知教職員合唱団・藤村紀一郎**『ソウルの少女』：従軍慰安婦を「繰り返しません」。

② 昭和天皇：

**林光**『太陽の旗』：戦争責任を取らずに生き残った天皇と戦後天皇制の政治利用を「海ゆかば」の歌詞をもじりつつ衝く。

③ 靖国神社：

**矢野亮・佐伯としを・三橋美智也**『雨の九段坂』：戦死の息子を「よくぞ死んだ」と褒められない母の心情。(真木柚布子は戦前の歌『九段の母』に「つめてえ勲章よりあったけえお前の手に触りたい」というセリフを付ける。

④ 広島長崎：

約 1800 曲あるが、初期は占領軍のプレスコードもあり、明確に反対を表明するものはわずか。1949 年に**三木鶏郎・榎本健一**『武器ウギ・無茶坊弁慶』：「原爆水爆つくってみても 地球が全滅 何にもならない それよりハイウェイ 作って呉れりゃ かわいいあの子とドライブできる」。弁慶の刀狩になぞらえた。

74 年**古賀政男企画・美空ひばり**『一本の鉛筆』：「一本の鉛筆があれば 戦争は嫌だと 私は書く」「あなたを返してと」「8月6日の朝と」「人間の命と」

87 年 **Michael Lunn 作・矢沢永吉**『FLASH IN JAPAN』(英語)：「俺たちは学んだのか」「これで終わるのか それともまた日本で光るのか」と警告。

97 年**さだまさし**『広島空』：「この町が燃え尽きたあの日 叔母は悪魔が舞い降りるのを見た」「繰り返さないで」「広島空に向かって歌おう」。

2011 年**府中小の子供詞・吉川晃司**『あの夏を忘れない』：「お日様が割れて 青空が消えて」「家族の笑顔も さらった爆風かぜ」「悲しみは忘れない」「だから約束しよう 平和を守っていくことを」。



⑤ 戦争（犠牲者）：

72年 **渥美清**『ごめんくださいお尋ねします』：死んだ戦友の手紙を届ける遺族はいずれも悲惨な生活をしている。「戦友はお国のために戦ったんじゃない」。

**田端義夫**は23歳で戦死した**竹内浩三の詩**『骨の歌う』に曲。「誰もいない遠いところでひょんと死ぬるやあわれ」「国のため 大君のため」。

兵隊の戦士や哀れ・・・遠い他国でひょんと死ぬるや・・・誰もいないところでひょんと死ぬるや・・・  
かつて大江健三郎が高校生を前に述べた言葉を思い出す（編集部）  
「日本国憲法と第9条がある限り君たちは『兵隊さん』にならなくてもいいのだよ」

**美輪明宏**『亡霊たちの行進』：真夜中の東京の空を戦争で死んだ者たちが焼けただれた顔で2度と戦をするなど行進。

⑥ 沖縄：

**永六輔・いずみたく・D=エイセス**『ここはどこだ』：「涙は乾いたか」「戦は終わったのか」「日本はどこへ行った」。

**桑田佳祐**『平和の琉歌』：「この国は平和か」「アメリカの傘の下 夢も見た」「民を見捨てた戦の果てに」「罪滅ぼしに 人として生きるのを なぜに拒むの 隣の軍人さんよ」。

**川口真由美**『目に焼き付いている日常』：「海が埋められるのを止めるため ゲート前に集まる人々を あざ笑うかのようにトラックが入る」「叫ぶ声に耳を貸せ」「必ず止めてやるといふ人々の決意」「その決意は連帯を呼んだ」

**所ジョージ**『アメリカの飛行機 アメリカに降りてよ』：「防衛と沖縄の感情」「両者正義でもめて その間諸国は 攻めるの休んでくれているのか～な」。

⑦ 自衛隊：

**高田渡**『自衛隊に入ろう』：「自衛隊に入ればこの世は天国」「自衛隊に入って花と散る」。

⑧ ベトナム戦争：

**国鉄品川合唱団**『止めるのは俺たちだ』：「軍用列車が…ベトナムへ」「止めるのは俺たち労働者」**岡林信康**『アメリカちゃん』：アメリカ国歌、スーダラ節、ヨイトマケの歌、カラスの赤ちゃんなどの替え歌メドレー。

⑨ 徴兵拒否：

**沢田研二**や**山本リンダ**『脱走兵』：若者が大統領の召集令から逃げる。

⑩ 9条：

**新谷のり子**（『第九条歌謡曲』）、**清水正美**、**きたがわてつが**、条文をそれぞれの曲で。『365歩のマーチ』の替え歌や交響曲もある。

**沢田研二**『我が窮状』：「この窮状救いたいよ 声を集め歌おう」。

⑪ 非武装：

**笠木透**『軟弱者』：「軍隊なしで滅びるとしたら滅びようではないか」「軟弱者と笑うがいい」。

⑫ 基地・戦争：

『内灘数え歌』（「村をば金では売らぬ」）『三宅島に生きる』（「ジュラルミンの悪魔の鳥はいらない」）など。『桑畑』（砂川）、『この勝利響けとどろけ』（板付）はおなじみ。

**制服向上委員会**『戦争はいらない』：若者が楽しく「戦争を止めよう」と。

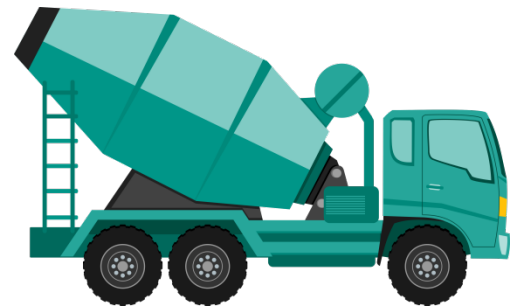
以上です。★歌はやはり曲が大事。you tube でも結構あるので、是非、実際にご試聴を。

# 連帯ユニオン関生支部の産業政策運動

## 元座愛知連帯ユニオン執行委員長のお話を聞いて

女性ユニオン名古屋 石田好江

9月18日のユニオン学校では、関生支部名古屋ブロックを担当する愛知連帯ユニオン執行委員長の元座毅さんのお話を伺いました。話題は大きく2つで、ひとつは全日時建連帯労組関西生コン支部弾圧事件をどうみるか、もうひとつは愛知連帯ユニオンの運動の現在についてです。



### 会社が潰れても労働組合・労働者は残す

まず関西生コン弾圧事件についてですが、そこで元座さんが強調するのは、これほどまでに異常な弾圧を受けるのは、関西生コン支部が取り組んできた生コン業者と労働組合の一面共闘（大手ゼネコン・大手セメント会社に対する共闘関係）・一面闘争（本来の労使関係）が新自由主義と真っ向から対立するものだからという点です。「競争から共存へ」「会社が潰れても労働組合・労働者は残す」という旗のもと構造不況業種であっても安定した労働条件を作り出してきた関西生コンの運動は、「企業は救済しても労働者は切り捨てる」という新自由主義とは相容れないものだからです。そのことは組織犯罪処罰法「事業活動への干渉が健全な経済活動に重大な悪影響を与える」（第1条）を使って弾圧してくることに表れていると元座さんは言います。かつて日経連会長の大槻文平に「箱根の山を越えさせない」と言わせたほど関西生コン型の運動は資本主義の脅威なのです。

### 関生コン支部の運動には脱成長理論

関西生コンへの弾圧については、労働法上、労働組合活動を刑事訴追することに正当性がない不当なものであること（労働組合運動の危機）が強調されがちですが、元座さんは関西生コンの運動がもつ「脱成長理論」としての創造的な意義についても理解を広めていくべき時であると、彼らしい大きな視点（文

明・社会の危機）でこの問題を捉えているところが印象に残りました。

### 愛知連帯ユニオンに貫かれる姿勢

もうひとつの話題は、愛知連帯ユニオンの現在についてです。2008年に結成された主にトラックやミキサー車の運転手で組織された組合で、2010年に関西生コン支部に合流し現在に至っています（現在の組合員数は約120名）。この1年の団体交渉が約70回、裁判と労働委員会の期日が63回という数字にも驚かされましたが、新分会を4つ結成させたという報告にはさらに感銘を受けました。その結果が不当労働行為案件（上記の数字に反映されている）の急増です。未組織職場に組合を結成すると必ずと言っていいほど組合攻撃＝不当労働行為が起こるとのことで、愛知連帯ユニオンが相手にしている企業の質（厄介さ）が想像できました。愛知連帯ユニオン運動の特筆すべきところは、こうした活動量の多さや積極性にとどまらず、直接の使用者だけでなく背景資本をも追及している点にあります。取引関係のある企業の事業や製品に対し背後にいる大手企業にも責任を負わせなければ構造的な問題の解決にはならないからです。

「戦後最大の労組弾圧の中にあっても何ら動ずることなく、当たり前前の労働運動を継続しているところに大きな意義があります」という今年の大会方針に愛知連帯ユニオンと執行委員長の姿勢を強く感じました。



## 「小さなユニオンでもいい・・・」

### 労働相談はやっぱり、ハラスメントに関するものが多い

女性ユニオン名古屋は組合員数が20名程度のとても小さなユニオンです。相談は解雇や昇給差別などといった内容より、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、いじめなどが多いのがユニオンの特徴です。メールや電話、来談などで話を聞かせてもらうのですが、話をする時にはすでに退社されている方も多く、残念ながら団体交渉などの活動につなげにくいこともあります。組合に加入してもらい一緒に職場改善や問題解決に結びつけるために活動することができればいいのですが、ユニオンに相談したり活動をした事がつらい思い出につながり、思いだしたくない出来事と感じてしまったり、仕事を辞めたことで生活が大変になってしまったりして、組合員として残っていただけないのが現状です。という理由で（だけではないかもしれませんが）女性ユニオン名古屋の組合員数は増加していません。

### 女性ユニオンに何ができるのか

ハラスメントを受けた女性たちの場合、どうして、なぜ、このような状況に自分が追い込まれてしまったのかわからないまま、誰にも相談ができず、仮に会社に相談窓口や労働組合があったとしても、担当が男性ばかりで相談しづらい窓口だったり、相談できる職場の雰囲気でもなかったりして、問題が悪化してしまうケースが多いのです。ハラスメントの構造において、加害者の目的は「攻撃」や「支配」なのですが、被害者は「意思の疎通」を図ろうとするので目的が違う双方が分かり合えることもなくエスカレートしていくことは明白です。被害者は自分のどこが悪いのか、

名古屋女性ユニオン書記長 内藤 菊江

どうしたらわかってもらえるか、最後には自分のどこが悪いのか、とまで考えてしまいがちです。結果、心身ともに傷ついて、どうしてよいかわからなくなって相談に来る女性たちに、女性ユニオン名古屋として何ができるのか、どう支えていったらいいのか、いつも考えることです。



### 個人の問題は社会の問題・・・だけど・・・

「個人の問題は社会の問題」「問題をソーシャルに」。問題を解決するため、社会を変えていくためには大きなひろがりが必要です。ハラスメントを受けた女性たちが、ユニオンの活動を通じて、社会に声を広げることが重要です。重要だとは理解しているものの、ハラスメントを受けた女性たちへの支援と、社会を変えていく運動（ユニオン活動）をどう結びつけていったらいいのかを考える時、当事者たちが声をあげていくのは重要だけれど、声をあげなければならないという、それがまたプレッシャーを与え、運動（活動）に参加できない者としての孤立感を生み出してしまうのではないかと心配してしまいます。

### というわけで・・・

女性ユニオン名古屋は小さいままで、女性たちへ支援を続けていきます。小さいこともいいことです。ユニオンは何度やめても加入はいつでもOKです。支援に軸足を置いた私たちですが、怒りからつながりと喜びを生み出す運動をめざして、微力ですが、頑張り続けていきたいと思っています。

## アメリカ：激戦だった2020大統領選挙

山崎精一（レイバーネット日本 国際部）

11月3日のアメリカ大統領選挙から4週間近くが経ち、バイデン候補の勝利が確定し、トランプ政権からの平和的な政権移行も始まりつつある。新型コロナ感染により1000万人が感染し、2500万人が失業給付を受けるという未曾有の危機の中で行われた今回の選挙は異例づくめであった。

第一は史上最高の投票率である。66.7%という投票率は1900年以来の高さであったが、その当時は女性には参政権はなく黒人もなかった。つまり、全国民が選挙権を持つようになってから一番多くの人投票した選挙であった。

第二に討論が成立しないような意見対立と二極分解の下で行われたことである。白人と非白人、都市と地方、極右と革新、1%と99%の裂け目は広がりつつある。

第三にトランプは郵便投票が不正に行われていると根拠なく主張して、選挙に対する不

信を煽ったことである。あげくの果てに選挙の前から平和的な政権移行を否定する発言を行っていた。



激戦州で300万件の個別訪問を展開したホテル・レスとラン労組の個別訪問風景

世界の手本ともされてきたアメリカ民主主義の根幹である、国民が一人一票により大統領を選ぶプロセス自体が危機に直面していたのである。

結果はバイデン候補が5つの激戦州で前回結果を逆転することにより勝利した。しかし、トランプ候補も前回より1000万票増やして「健闘」した。

### 労働組合の足並みが乱れなかったことは大きかった

バイデンの勝因の第一は非白人の人口増もあり、選挙登録し投票した人が1350万人も増えたからである。激戦州を中心に非白人を対象に選挙登録と投票を呼びかける運動が地道に展開されてきた。各州ごとに投票促進団体が結成され、労働組合も加わり大きな力となった。トランプ側もヒスパニックや黒人への働き掛けを強め得票率を伸ばしたが、バイデン側は非白人票と都市部をまとめた。

第二の要因は4年前のヒラリー・クリントン候補との比較をすると白人からの得票率が改善したことである。前回トランプ勝利の要因となったラストベルト地域の労働者票

が、雇用改善の約束が裏切られて、バイデンに戻ったと考えられる。

第三の要因は民主党側の票が割れずにまとまったことである。4年前はサンダース候補が最後まで予備選を闘ったこともあり、ヒラリーの不人気と相まって、多くの票が棄権や第三政党に回った。今回はサンダースやオカシオ=コルテスなどの左派もバイデン支持でまとめ、労働組合も足並みが乱れなかったことが大きい。

しかし、今回の選挙結果は民主党の勝利ではない。今回の大統領選挙はトランプ対バイデン、共和党対民主党の対決ではなく、トランプにもう4年続けさせるか否が問われた選

挙であった。その証拠にバイデンは辛うじて勝てたが、民主党は連邦議会選挙で躍進が期待されたにもかかわらず後退した。上院でも逆転できず 48 議席対 50 議席の結果であり、1 月 5 日のジョージア州の決戦投票に逆転の望みをつないでいる。

トランプが選挙結果を受け入れて、ホワイトハウスを去っても問題がなくなるわけではない。トランプを生み出した人種間の対立、雇用不安と貧困、社会の分断と怒りはそのまま残っている。トランプが煽り立てたアメリカ第一主義、嘘とデマゴギー、「社会主義」に対する恐怖は蔓延したままである。

トランプ自身も政治の世界に残り、4 年後の再選を狙うかも知れない。あるいはトランプよりも上品で洗練された「トランプ主義者」が登場するかも知れない。

トランプが今展開している不正選挙の主張、裁判はその布石である。根拠がなくても不正選挙を言い募ることで、バイデン大統領

## バイデン勝利を生み出した草の根の力 = 当事者たちの運動に依拠する道

コロナ感染対策を最優先課題とし、オバマケアの継続充実と民主主義を守ることを掲げたバイデンを選ぶことでアメリカ国民は回答を出した。しかし、その政策を実現するための議会の協力は確保できなかつたし、トランプは居残り続ける。

バイデン新大統領はその掲げた政策を実現するために議会共和党の協力を取りつけるだけでは乗り切れないであろう。バイデン勝利を生み出した草の根の力、運動に依拠する他に道はない。それはコロナに一番多く感染し職を失っている黒人であり、フードバンクで生き延びているシングルマザーたちであり、住宅ローンが払えずに立ち退きを迫られている失業者たちであり、学生ローンを抱えて職のない若者たちである。これらの人たちが求めているのはコロナ・パンデミックから命を守り、人種差別の根本を断ち切り、全員が健康保険にはいれ、気候変動にストップを

の正統性を掘り崩そうというのである。オバマ大統領がアメリカ生まれではないから大統領になる資格がない、というデマをまき散らしたのがトランプの政治的出発点であった。今度も同じことをやろうとしている。事実や科学を否定して、嘘と陰謀説で対抗して、信奉者を拡大している。すでにその試みは成功しており、トランプ支持者の 77% はバイデンの選挙不正を信じている、という世論調査結果が出ている。この人たちはバイデン政権はニセの政府だと信じ、主張し続けるだろう。

トランプに投票した 7300 万人に配慮し、その声も代表するのが本来の新大統領の仕事だろう。しかし、事実にも目を背け、科学よりもトランプの言うことを信じる人々の信頼を勝ち取るのは至難の技である。

ここまで溝が広まってしまった二つのアメリカ社会はどこに向かうのだろうか？ 分断と対立、相互不信と憎しみを融和するような和解策はあるのだろうか？

かけられる社会である。全ての人の生存を求めて、当事者たちが声を上げるだけではなく、直接立ち上がりつつある。根源的な社会変革を直接行動によって目指す動きは 2011 年のオキュパイ運動に始まり、2013 年のブラックライブズマター運動に引き継がれ、今年 5 月のジョージ・フロイドさん虐殺により全国に広まった。この運動の高まりが持続



してトランプの再選を阻んだのである。何千万人という労働者や非白人がトランプは自分たちのために闘ってくれる、とまだ信じていることを今回の選挙結果は示している。バイデン新大統領がその人たちの信頼を取り戻せなければ、より洗練された「トランプ」が 4 年後に生まれることになるだろう。

# 企業協力の労組づくり

近森 泰彦

JR 本州3社は、4月～6月期連結決算で、JR 東日本→1553 億円、西日本→767 億円、東海→726 億円という大幅赤字を計上し、これ

を好機として「新たな合理化」が始まろうとしている。（「動労千葉」からのニュースを参照）

## これから始まる「鉄道総下請け」という破滅的な「合理化」

労働者と利用者への転嫁とはどのようなものか？

### 通年的1千億円のコスト（人件費）カット

既に夏季手当カットにより110億円、さらに年末手当のカットなど含め1000億円カット。社員5万3千人の内、1万3千人いる乗務員の手当廃止など含め大幅賃下げを行う。

### ワンマン化・リストラ

全線区終電時間の繰り上げ。ワンマン化（5、6両編成まで車掌なしの運転士1名）。駅員、清掃、検修など関連全分野で下請け化。

### 23路線の廃線

1892km（JR東全線の35%）に及ぶ廃線。

### 変動運賃制導入

ラッシュ時の運賃を大幅に値上げ。駅員はラッシュ時間帯重視の配員。大幅な要員削減。

### 鉄道業務の全てを外注・下請け化

鉄道の安全運行を守ってきた保守・整備などの仕事は「価値を生み出さない」とし切り捨てる。既に電車・車両の整備は全て外注化済みである。ここで働く労働者の処遇はJR社員に比べて著しく低く抑え込まれている。

（勤続20年で手取り20万円程度）日本の労働者の貧困化に拍車をかけるであろう。

### 就業規則の改悪

「業務量減少その他経営上の都合により休業を命じる」という条項が新たに書き込まれた。会社のさじ加減一つで休業させる。「今日4時から君の仕事は無い」として1時間分をカットすることから始めて「明日は君の仕事はない、出社に及ばず」と拡大運用を狙う。8時間勤務の原点を崩す。

連合系 JR 東日本労組は、これらの提案をうけ『整理解雇さえなければ会社の提案を認める』と声明を出し自ら軍門に下った。民間大企業の企業内組合の殆どが「企業の発展に貢献する」ことを組合の本旨においている。「電力労組の原発推進」を見よ。彼らの愚かさが目に余るではないか。

JR 各社で始まっているこの「新たな合理化」について JR 東日本を例に紹介したが、抵抗運動がなければ全産業にひろがるであろう。

歴史を紐解けば、1980年代、中曽根内閣は、たたかう労働組合を潰すために、ストライキを含めて果敢な闘いを続けてきた現業部門（三公社五現業）の民営化を強行することでそれらの「企業内労働組合化」をはかった。

### **1987年の国鉄民営化法**

「国鉄清算事業団」を発足させ国労、全動労などの活動的組合員を移籍して抵抗運動を抑え国鉄をJR6社と貨物会社へ分割・民営化を強行した。各社は採用者を厳選し活動的労働者を排除、活動家を清算事業団に閉じ込め、草むしりなどの業務を命じた。1047人の闘争団を結成し20年余に亘って国家権力の不等労働行為と闘った。2010年、「四党合意」を受け入れて政治決着、だがこの「妥協」に至るまでの闘いを糧に運動を継承し労働条件改善と不等解雇撤回をたたかい続けてきた動労千葉労組が**2015年に、最高裁判決「JRの不採用は不等差別」を勝ち取った**。彼らは、引き続き、労働委員会などで権利の実現を目指し共同を広げながら、たたかいを続けていることを覚えていよう。



## 企業協力の労組づくりは、戦後一貫した政府の方針であった

中曽根・安倍・菅・ら権力集団は「日本から労働組合をなくす」ことを戦後政治の総決算の大きな柱に据えている。この攻撃は、戦後のレッドパージに始まり今に至るまで一貫している。1952年頃、民営電力9社が誕生した時もパージ対象者を労務担当者と会社

派の組合幹部が額を突き合わせて選別した。(中部電力火力職場で行われたチェック表コピーを近森は所有している)「会社派の幹部」によって、同じ蛮行が国鉄はじめ政府現業部門で大々的にくり返されたのである。(以上)

## 会社の労務管理組織の一翼に組み込まれたトヨタ労組

全トヨタ労働組合書記長 中村 一三

### 「21 ゆめW」…賃上げ要求の放棄

今年9月の組合定期大会でトヨタ労組は、来春闘「21 ゆめW」に向けて次のような方針を打ち出した。「100年に一度の大変革期」の現在、「働きがいの向上に軸をおいて取り組む」と。この「働きがいの向上に軸をおいて」ということは、組合員全体の賃金の上昇は追求せず、経営陣と協議を重ねてきた「新賃金制度」を全面的に適用し組合員の中に圧倒的な賃銀格差を付ける、ということなのである。「頑張った人」には賃上げで応え「働きがいを」実感させるが、「頑張った」とは見なせない人にはビター文の昇給もない、このような「ゆめW」にするという宣言なのである。

### 格差を拡大する新賃金制度

トヨタの労使は「19 ゆめW」を起点にして新賃金制度について話し合いを始め既に合意に達している。職種別に分かれている賃金制度のうち事務・技術職のそれに絞って検討する。第一は賃上げ幅の拡大。従来は職能基準給(固定レート)と職能個人給(査定による格差がある)の2本立てだったものを「職能給」に一本化し全体を査定の対象にし上下幅を拡大した。第二には賃上げゼロというD評価、E評価を明確に位置づけ強調。(E評価については再雇用もないとしている)。そして一度D、E評価をされたなら職能資格も上がらず長

きにわたり低賃金を強制される。このような脅しつけによって「期待を下回るもの」や「長期休職者」などの尻に火を付け、さらには退職にも追い込もうとしている。この賃金制度の改悪に積極的に加担してきたのがトヨタ労働組合に他ならない。昨年のゆめWで委員長・西野は次のように言って会社の思惑を代弁した。「変わりきれていない組合員も守ってきたが、これからは変えていく」と。

### トヨタによる「春闘」破壊

「100年に一度の大変革期」を乗り切るためには、トヨタを「モビリティ産業」に変えていかなければならないと思い込んでいる豊田章男は、そのためには労働組合そのものを換骨奪胎し戦前の産業報国会のような組織へと改変せねばならないと考えている。この出発点をなしたのは「18 ゆめW」であった。豊田章男は労組との間で合意した一般組合員(正規社員)の賃金改善額の公表を拒否し、非正規社員を含む全組合員の手当等も含めた昇給額を公表した。これは日本の賃上げ額の指標にされるトヨタの賃上げ額を隠すためであった。これによって、曲がりなりにも残っている日本の賃金闘争としての春闘、これをぶち壊しそうとしたのである。そしてトヨタ労組・西野執行部はこの回答を許諾し春闘破壊の協力者となったのである。

## 豊田章男の一喝で産業報国運動に純化—

### 「19 ゆめW」

「19 ゆめW」ではトヨタ労組は前年のトヨタの回答の形式に沿って賃金要求を行った。ところがトヨタ経営陣は全体の賃金を底上げするような賃上げに難色を示し、賃金制度の見直しを押し込んできた。この会社提案に西野執行部は「全く配分されない人・職種がいるなら、組合として受け入れにくい」とわずかに抵抗の姿勢を見せた。この組合の態度に切れて、いきり立ったのが豊田章男であった。「今回ほどものすごく距離感を感じたことはない。組合・会社とも生きるか死ぬかの状況がわかっていないのではないか」と一喝し、冬期一時金の回答を拒否したのである。そして回答にあたって豊田章男は「豊田綱領」を持ち出して「産業報国」の精神を述べ立てたのであった。

「上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙げべし」「家庭的美風を作興すべし」「報恩感謝の生活をなすべし」などの項目をあげ、トヨタの興隆につくすことは「私心によるものではなく」、「産業」で持って「報国」することに他ならず、トヨタ一家の一員として「報恩感謝」の気持ちを持って、「至誠業務」に献身せよと。「トヨタの発展が国の興隆そのものである」との思い上がった意識で、「上下一致」すなわち労使の対立などには一切蓋をして国すなわちトヨタの発展のためにつくせと恫喝したのである。

まさにこのような豊田章男の会社に忠実な労働組合さえ否定するような発言に、西野執行部は「危機意識が足りなかった」と自己批判し、全面的に平伏した。それ以降、会社役員が直接に下級組合役員に経営施策を講演する拡大労使懇談会なるものが連続して



開催され、また「やめかえ」運動という生産性向上運動を組合が前面に立って展開してきたのである。

### 「産業報国会」としての完成—「20 ゆめW」

「20 ゆめW」はトヨタの「産業報国会」としての完成を象徴するものであった。それは「労使交渉」の形に典型的に表されている。トヨタ経営陣と労働組合が相対して席に着く従前の形態ではなく、豊田章男を頂点にして労使が3角形をなして座るという形が取られた。まさに家父長・明男が鎮座する前で、長兄・経営陣と次兄・労働組合がトヨタ一家の今後の発展について論議するという形が取られたのであった。

そしてこのような議論を通じて、「賃金改善額をふくめていない」「全組合員の賃金改定額」が回答され、この回答をトヨタ労使はマスコミに「賃金改善なし」と報道させた。しかし、その後公表されている賃金表を見る限り一般組合員の賃金は「生産性率の改定」という形で数千円上昇させられている。世間的相場を低く抑えるために表向きは「賃金改善なし」として発表させ、それにトヨタ労組執行部は全面的に協力したのである。

トヨタの春の労使協議は一昨年から会社の手によって、即日、ウェブで公開される。「春闘から春討へ」という日本経団連の「春闘」破壊のもくろみ、これの見本としてトヨタにおける「春闘」は行われているのだ。各企業の将来について労使の協議、このようなものに日本のほとんどの春闘は変質させられてきているのだ

私たちATUはトヨタを始め多くの企業の過酷な業務の強制で破壊される労働者の生活と命、権利を守るために闘うとともに、トヨタ労組・トヨタ労連の産業報国会の一翼への変質の現実を明らかにし、すべての労働者が自企業の労働組合の変質を打ち破って本当の労働組合を取り戻すために闘うことを呼びかけるものです。

## 共謀罪と労働運動（五）

木村 直樹

関西生コン事件の法廷（大津、大阪、京都）も新型コロナ感染を恐れているが、私は警察、検察、裁判所から発する共謀罪適用の思惑が漂っているのを感じてきた。

この事件は「共謀罪のリハーサル」「共謀罪の先取り」とか言われているが、武建一委員長は「今までの大体は公安関係が動いていましたが、組織犯罪対策というのは今回が初めてですね。私の逮捕時に滋賀県警から来て『逮捕理由は？』と尋ねると『自分たちは覚悟を決めている』と。その話しぶりからこれは上層部からの指示がきているなどの印象を受けたですね。暴対法の適用だと。最初の暴対法は1998年頃できた。私は「これは労働組合～市民団体にも拡張適用するな」と見て、唯一労働組合で反対したんです。実に今回の捜査内容を見ると、その暴対法の拡張適用で、もう一つは共謀罪の実施という視野で捜査している」（「コモンズ」no142、7月20日）と述べるように、「暴対法の拡張適用」と「共謀罪の実施」という二つの観点が必要である。

「共謀罪の構成要件を変えて、テロ等準備罪を新設した改正組織犯罪処罰法が成立しました」というNHKなどのマスメディアによって「テロ等準備罪」が強調されたせいで、277の共謀罪該当項目までは国民に理解されず、2人以上の「計画」で「組織的な威力業務妨害をした」という「組織的な」を加えた罪名のもとに「共謀」という判例概念を基礎にして、「組織的犯罪者集団」によるいわゆる「共謀罪」が成立した。警察段階では「組織的な」はすでに使われているが、検察の起訴状には未だである。しかし今後、訴因の変更がないとも言えない。法廷では検察が「共謀の構造」、「共謀性」「組織性」なる言葉を使って立証しようとしていた。逮捕者から取り上げた携帯LINEの組合員8人の名前を証拠として画面を映し出した大津地裁（2019年

5月8日）での警察官の証人尋問には、唾然とした。2019年5月15日の大阪地裁では、妨害したという現場の映像（会社、ヘイト集団、警察のもの）を見た。どこが犯罪なのかという疑問が傍聴者の声として湧き、その次の公判では会社側のやらせの実態が明らかになったにも関わらず、今年10月8日の大阪地裁判決では「関生支部執行委員長武建一、関生支部副委員長七牟禮時夫・・・らと共謀の上」、「威力を用いて植田組の業務を妨害し」、「威力を用いて中央大阪生コンの業務を妨害し」、「威力を用いてダイワNの業務を妨害した」として、被告人兩名（争議対策部長の西山直洋さんと元副委員長のYさん）は懲役2年6か月（執行猶予5年）となった。

武委員長について「武にとってあらかじめ計画していた『ストライキ』の態様と全く異なる事態となっていたという認識をうかがわせるような発言はないから、武にとって、判示各実行行為が予想外のことであったとは認められない。そもそも、判示各実行行為は、関生支部が、多数の組合員を動員して組織的に敢行した行為の一環であり、関生支部執行委員長という武の立場からすれば、関生支部組合員らが関生支部の指揮命令系統に従ってある程度の実力行使に及ぶことは当然に想定していたと考えられる・・・以上によれば、被告人兩名と武との間に共謀が認められることは明らかである」と憶測で断定し、西山さんを「正犯意思も優に認められることは明らかである」と共謀の正犯とした。グループLINEを恣意的に捉え、「本件犯行は、多数の組合員が組織的、計画的に行動したもので悪質である」と描いた。判決文には組織犯罪処罰法の「計画」「指示」「組織的」など要件と「指揮系統」も散りばめられている。寸止めのようなのだが、実質的に「共謀罪」の適用ではないだろうか。

# 失業者の労働運動（二）

佐藤明夫

## 3. 知多自由労働組合の結成

県内の失業労働者の組合結成は名古屋市域が先駆であり、1949年秋までには熱田、大曾根、笹島の三地域で自由労働組合が結成され、12月には全名古屋自由労働者組合連合会を組織し、参加人員は約三千名であった。郡部では公共職業安定所単位に、1950年1月に岡崎、3月に半田、4月に豊橋、津島、瀬戸、刈谷でそれぞれ結成された。

失業対策事業が始められると、すぐにその欠陥が全国各地で問題となる。求職登録労働者に対して、予算不足から通常的に多数のアブレが出て、日当賃金も地域格差があり、生活保障にはほど遠い金額であった。

半田では2月22日、職安登録労働者が完全就労などを要求して半田職安所長に陳情し、翌日には共産党知多地区委員会の間瀬英夫ら5名が半田職安に陳情の実施を迫っている。

半田金属退職者同盟の会員や解雇された共産党系の自由労働者が運動の中心になったと推定される。

こうして知多自由労働組合が3月22日、約200名（600名の資料も所在）で結成された。間瀬英夫が委員長、元半田金属労組委員長の富嶋金吾が副委員長になった（富嶋証言）。組合は活発に行動し、3月28日付けで要求書を半田市長に提出している。

### 要求書

（略）半田職業安定所管内の失業対策事業に登録せる人員五百名を突破するに至るも、昭和二十五年度の半田市失業対策予算は僅かに九一万円が計上されているに過ぎないと聞く。これでは（略）三月以降、失業保険の切れた工場関係の失業者がただ失業対策事業のみを期待して（略）続々登録しつつある現状を無視した余りにも無責任な処置で

あると断ぜざるをえない。我々は生活を守るために、市当局に対して反省を促し、次の事項の実施を要求する。

- (1) 失業対策予算を実情にあった予算に組み替えよ（約九千万円）。
- (2) 略 (3) 略
- (4) 自由労働者の日当を三百円とせよ。
- (5) 雨降りの日にも日当を支給せよ。
- (6) 略 (7) 略
- (8) 自由労働者の家庭で困窮せる者については、生活保護法を適用せよ。
- (9) 家庭（家族）を含めた無料診療を実施せよ。
- (10) 作業衣、地下足袋を支給せよ。

昭和二十五年三月二十八日

半田市長殿 知多自由労働組合

（『愛知県労働運動史』第一巻）

アブレ問題の要求が文面にないのが不思議であるが、この要求書提出の前日の3月27日に知多自由労組のアブレ54名が半田職業安定所に座り込み陳情をして交渉、全員就労の約束を得て解決したとの記録がある。（『愛知県労働運動年表（稿）』）。さらに4月2日に知多自由労組は、半田市に完全就労とアブレの賃金支給を要求し、解決した。国の予算不足を自治体に補充させる戦術が成功した。アブレは毎日発生する。4月8日には知多自由労組の97名が半田職安北広場に集まり、「職よこせ」を決議し、半田市役所前で完全就労・賃金増額などの市民署名運動を実施したのである（『愛知県労働運動年表（稿）』）





自労の闘争戦術として、集団交渉や長期座り込みなどの激しい交渉が伝えられるが、市民に署名を訴えて支援の輪を広げる運動は、知多のほかに記録がない。4月5日に名古屋の自由労働者が、アブレ問題で鉄道に座り込み、警官隊と衝突して検挙者を出したことに比べ、知多自由労組の指導部が柔軟な戦術をとったことがうかがえる。

#### 4. 知多自由労組運動の拡大

1950年7月、愛知県内に点在する自由労組運動を結集するために、愛知県自由労働組合連合会（以下、連合会）が結成された。その準備会に知多から富嶋金吾と郭鉄三が参加し、新役員として富嶋が会計監査に選出された。規約の第三条で「この連合会は愛知県下の自由労働組合で組織する」、第四条で「この連合会は組織されている組合が同一の要求を獲得するために共同で戦うことを目的とする」と規定した。

自由労組運動が地域ごとから県レベル、全国レベルでも統一的に展開されることになった。連合会は1951年1月15日に（執行）委員会を開催し、主な地域自由労組の14名が参加し、知多からは成田、富嶋、郭の3名が出席した。知多は重要な構成組織であった。この年度の活動方針として1. 公共事業賃金の引き上げ、2. 失対賃金の引き上げ、3. 失対枠の拡大、4. 軍事基地反対、5. 占領軍の即時撤退を決定した。

当面の重点として、失業保険待機期間の短縮、日雇賃金（失対賃金）の早期引き上げを要求することにし、代表を上京させて関係当局に要請した。1月17日代表9名が上京し、知多からも参加した（富嶋金吾か）。愛知県選出の共産党議員田島ひで、労働政務次官、厚生省担当者に陳情した。県連合会独自の取り組みであった。

その直後の2月4日、GHQと政府は「平

和のこえ」が発行禁止のアカハタ後継紙であるとし、政令325号（占領目的阻害行為処罰令）を適用して、頒布者である日本共産党支持者を検挙する弾圧を行った。知多自由労組の事実上の指導者であった富嶋金吾も2月7日に逮捕され、10日間留置された。知多自由労組運動への制圧でもあった。

知多自由労組運動の特色は反共・アカ攻撃に対し、労働者・市民との連帯の輪を広げようというものであった。知多自由労組はメーデー闘争として、自由労働者以外の海運、運輸、港湾関係の日雇労働者支援を決定し、企業側に賃上げを要求、労働者には連帯を呼びかけた。執行委員会は次のような運動方針を決定した（6月3日「組合報告」）。

一 我々はあらゆる要求が働く者の当面の生活諸条件を向上させる闘争であると共に、戦争に反対し、平和を守る全面講和の闘争であることを認識して闘わなければならない。

一 自由労働者のみの闘争でなく、同じ職場全体の労働者の要求として、発展させる闘争でなければならぬ。そのために港湾、海運、自由労組を含む合同組合をつくる活動を行う。

（『愛知県労働運動史』第二巻）

当時最大の政治課題であった全面講和運動を最初に強調している点に、共産党系指導部の性格が反映されているが、同一労働の労働者と連帯し、地域の合同組合に発展するという構想はきわめて独創的で、統一戦線への道をさぐるものであった。残念ながら大手企業傘下にある日雇労働者とは労働条件や待遇の格差が大きすぎ、実現の可能性は少なかった。（次号へ）



## 11.1 全国労働者総決起集会に参加して

元海員組合全国委員 柿山 朗

今から23年前の1998年、国鉄分割民営化に対して「JRに法的責任なし」の「反動判決」が出されたことに対する怒りと危機感から、港合同、動労千葉、関西生コン支部、の3労組による集会を持ったのが**全国労働者総決起集会の始まり**とされる。例年、海外からの参加者があるのが特徴だが、コロナ感染拡大のため今年の参加は見送られた。集会では、関西生コン武谷書記次長は「無罪判決勝ち取るとともに、組織拡大と現場での行動を実践し、最終的には大衆行動で決着をつける」と決意表明した。全金港合同木下執行委員は「職場や地域の闘いには困難もあるが、団結を崩さず執念をもって闘えば必ず活路は開かれる」と語った。

### 怒りと悲しみを労働運動へ

集会で強く印象に残ったのは、過労による投身自殺で小児科医の夫を失った中原のり子さんの訴えだった。自殺した頃、高校生、中学生だった長男と次男は父親に見捨てられたと思い、長男はアル中。社会から隔絶して過ごしている家族の現状を赤裸々に語った。会場参加者に対して4件の過労死事件への署名を求めたが、いずれもパワハラ事案だという。4件の中には愛知・中部電力での新入社員へのパワハラ・過労死事件も含む。最後に職場での人権を守るために労働組合の組織率を上げるよう訴えた。

「東海の会」と「神奈川の会」のメンバーを背に「関生労組弾圧を許さない東京の会」代表の木下武男さんは、「関西生コンの弾圧をはねのけるということは、関西生コンのような産業別労働組合を作るということ。過労死があるような日本社会を克服し、新しい社会をつくっていくことにつながる」と結んだ。私は30年ぶりに東京都心をデモ行進した。



東京総行動では、大手町の経団連ビルからスタートし、最後は、丸の内の国鉄本社前で、拳を突き上げることが常だった。

### 守るべきは組合組織か組合員か

当時のデモには国労闘争団、全通4・28処分者などが加わっていた。竹中不当解雇撤回闘争を闘う私たちも船員争議団のノボリを立てて参加した。海員組合は組織を守るため、組合員を守らなかったからだ。国労や全通も事情は同様である。今回の集会で注目したのはセブンイレブン資本に反旗を翻す東大阪の松本オーナーの発言である。「労働組合のための労働組合になってはいけない。基本は他の労働者のために行動をおこすこと、そうすれば正しいと思えることに何の付度もなく突っ走れる。そのことに誇りを持てるようになる。」かつて全石油ゼネラル労組には「選別、差別を憎み仲間を裏切らない」という職場綱領があった。長崎三菱社研（第3組合）は「組合員なら盗っ人、火付けでも守る」というテーゼを持っていた。

### 労働組合運動のこれから

集会で動労千葉関執行委員長は「民営化すればすべてがうまくいくと言って社会を引き裂き、絶望的な格差と貧困を強制した。そ

れを仕方ない現実だと刷り込みつづけてきた攻撃に対し、世界ではもうたくさんだという声があふれだしている」と語った。

最近「労働情報」誌が 1000 号をもって休刊となった。そのなかで熊沢誠さんは普通の人々が心に灯をともしるのは、香港やアメリカの若者たちのような秩序紊乱を含む行動ではないか、と啓発する。フィリピンとヨタの連帯行動で愛知の私たちが知っている山崎精

一さん（レイバーネット国際部）によれば 2021 年の AFL-CIO の会長選挙で有力視される候補はいずれも 40 歳代の女性という。3 年前、名古屋のユニオン学校に駆けつけてくれた松元千枝さんは労働情報誌の息吹を「アンフィルター」として継続するという。表紙には 1000 号はその終点ではなく、次世代の“起点”と書かれてあった。

.....

## 書評：斎藤幸平『人新世（ヒトシンセイ）の「資本論」』

### マルクス主義者を長いジレンマの淵から救ったのは

### やはりマルクスだったか・・・

たかだ 洋子

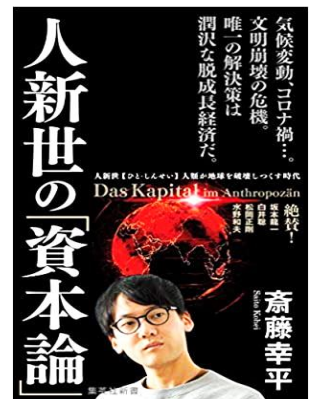
2020 年 9 月に集英社新書として発売され、話題を呼んでいる。読書会を持ってお互いの意見を聞き合いたい。

人類の歴史は一定の法則で進歩すると考える進歩史観が 19 世紀に流行した。アメリカ大陸でネイティブアメリカンの生活様式を見てヨーロッパの白人たちは、彼らを進歩しなかった人たちだと蔑み、古代の先祖たちの生活ぶりはこんなだったかもしれないと想像した。その頃、ダーウィンの『進化論』が発表されたこともあって、人々は人間の「進歩」あるいは「進化」を議論した。しかしその後文化人類学の研究が盛んになって、19 世紀的視点が真実ではないことが知られ、この学説は 20 世紀の半ばには完全に否定された。それなのに 21 世紀になってもまだ一部に生き残っていることが不思議がられた。マルクス主義の一部にはどうしてもこの「学説否定」の流れを受け入れることのできない人たちが残っていたのだ。マルクスの理論では生産力の進歩が新しい時代を切り開くと展望していたのだから。その人たちのジレンマを、実はマルクス自身も共有していたなんて、嘘みたいな本当の話を斎藤さんは研究したのだ。

『資本論』第 1 巻刊行以降、1883 年に亡く

なるまでの約 15 年間、マルクスはほとんど著作を公にしなかったのだが、熱心に自然科学の研究を続けていた。研究しながら一冊もものにはできないとは、一体何を苦しんでいたのか。

実は現在、MEGA と略される国際的全集プロジェクト、マルクスが生涯で書き残した膨大な資料「研究ノート」など一切の資料を出版することを目指した『マルクス・エンゲルス全集』プロジェクトが世界で進行中である。その膨大な資料の研究から、晩年の 15 年間、彼が何を研究しどんなジレンマに陥っていたのかを知る手がかりとなり、マルクスの新しい解釈が可能になった。マルクスの資本主義批判は、資本論第 1 巻刊行後の 1868 年以降、さらに深まり、理論的な大転換を遂げていったことが知られるようになった。MEGA の編纂作業を通じて、今まで埋もれていた晩期マルクスのエコロジカルな資本主義批判にスポットを当てることが、ようやくできるようになった。『資本論』以降のマルクスが着目したのは、資本



主義と自然環境の関係性だった。

マルクスは、資本主義そのものが、労働者を搾取するように自然を搾取すること、人類の生存を脅かすほどに自然を搾取してしまうこと、それが止められないことを展望した。だから、斎藤さんは言う。資本主義をそのまま続けながら SDGs、つまり持続可能な成長をとげようと言うのは、まさに気休めだと。資本主義を続ける限り、無理だと、それはマルクスも述べているのだと。

では、どうすればいいのか。それはぜひ一緒に、この本を読んで一緒に考えましょう。19世紀以来、資本主義の暴力性を知った人々は資本主義に代わるシステムを展望し試みもしてきました。いつも失敗に終わっていますが、この危機はすでに地球上を覆って、外

部に転化して生き延びてきた資本主義の方法はもう通用しない時代に入っていると言います。もう「外部」などこの地球上にはなくなってしまったのだから。労働運動をする人たちが環境運動をしている人々とともに語り合えるようになって欲しい。

ところで日本人の私たちにとって何よりも幸運なのは、斎藤さんが日本人だったこと。彼はもちろん英語やドイツ語で著作しているが、その成果を私たちは翻訳で読む苦勞をしなくていい。『資本論』などを読むときに翻訳の言葉が難しくてお手上げに拍車がかかっていましたが、その苦勞をまぬがれていることに、感謝したい。読みやすく、わかりやすく、誰もがすぐに議論できるので、ぜひ一緒に読書会をいくつも開きましょう。

## 生きる闘い

### 「第46回名古屋越冬活動」ご支援ご協力を！

【期間・受付時間】2020年12月28日（月）～2021年1月2日（土）9:00～17:00

【場所】大津橋小園内（テニスコート西側）

【電話】070-1677-0666（越冬期間中しかつながりません）

## 編集後記

統計では10月に女性の自殺が急増している。「職を失い残り数百円となり生活保護の申請に行ったら窓口で『くにに帰れ』と諭されたが行く所がない」と投稿した若い女性。日本社会にあった「大家族の農村」はもう昔の話だ。現代社会には「くに」など誰も持っていない。投稿した彼女はその後どうしているだろう。女性が路上生活になると横になる場所がないと聞いた。バス停で寝ていた女性が早朝、近所の男に石で殴り殺された事件があった。GOTO 事業は困っていない人たちに税金を配っている。管政権はAI マッチングアプリに200億円！そんなバカな予算をやめて生活保護を真っ当に運営すれば多くの人々の命が新しい労働力になれるのに。ユニオンまでたどり着かない人たちが静かにいま殺されている。（編集長・たかだ 洋子）

### ■ □ 事務局連絡先 □ ■

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-3

労働会館本館 306号 健康センター内

Tel&(fax) : 052-883-6966(6983)

メール : sfl7wtq@tg.commufa.jp

### ユニオンと連帯する市民の会

お願い！ 原稿、感想、情報、意見をお寄せ下さい。

1部 100円

### 本年度の会費・カンパの振込をお願いします

#### 振込先

郵便振込

口座番号 : 00820-7-169123